



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月31日

上場会社名 小松マテレー株式会社 上場取引所 東
コード番号 3580 URL <https://www.komatsumatere.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中山 大輔
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 中村 重之 (TEL) 0761-55-8000
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	9,603	△4.6	852	10.5	1,141	19.4	812	19.8
2026年3月期第1四半期	10,061	6.0	772	36.6	956	24.3	677	△37.5

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 1,052百万円(81.2%) 2026年3月期第1四半期 580百万円(△35.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2027年3月期第1四半期	円 銭 21.45	円 銭 —
2026年3月期第1四半期	17.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	51,009	40,066	78.3	1,061.29
2026年3月期	51,942	39,889	76.5	1,042.52

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 39,920百万円 2026年3月期 39,747百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	14.00	—	13.00	27.00
2027年3月期	—				
2027年3月期(予想)		13.00	—	14.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,000	△6.7	900	△33.5	1,450	△14.4	1,000	427.0	26.23
通期	42,000	1.1	1,500	△40.1	2,300	△28.3	2,000	33.3	52.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2027年3月期1Q	39,240,999株	2026年3月期	39,240,999株
2027年3月期1Q	1,626,355株	2026年3月期	1,114,855株
2027年3月期1Q	37,867,944株	2026年3月期1Q	39,462,403株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・決算補足説明資料は、決算発表後すみやかに当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移したものの、中東情勢の緊迫化に伴う原油価格・資源価格の高騰が企業の調達・生産コストを押し上げているほか、物価上昇を背景とした消費者マインドの冷え込みも継続しており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境の中、当社グループは、国内向けでは衣料・資材の両分野で営業活動を強化し、海外向けでは欧米・アジア等への拡販に努めました。しかしながら、当第1四半期は計画的に操業日数を調整したことにより生産数量が減少し、売上高は前年同四半期を下回りました。利益面につきましては、基幹システムの導入費用及び生産設備への設備投資に伴う減価償却費等が増加した一方で、当社グループの得意な領域において競争優位性を圧倒的に高める方針のもと、高付加価値商品の導入や拡大等に取り組んだことにより、前年同四半期に比べ増益となりました。

また、当社グループは、当期を最終年度とする中期経営計画「KFW-2026」の達成に向け、2024年より様々な具体的施策を実行しております。中期経営計画における基盤強化課題への本格的な対応として、2026年5月には、国内の全生産工場を対象に、次世代素材への対応、生産工程の高効率化、環境配慮型生産、DXの推進等を柱とする次世代型の工場群への再編を目指す長期プロジェクト「factoRel100（ファクトレー100）」を公表いたしました。

研究開発の面では、炭素繊維撚り線「CABKOMA(カボコーマ)」を用いた耐震補強工法の開発により2025年度繊維学会「技術賞」を受賞したほか、新生Spiber株式会社との共同事業によるBrewed Protein™(ブリュードプロテイン)素材コレクションを国内で初公開するなど、非石油由来の次世代素材の社会実装に向けた取り組みを着実に進めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は96億3百万円（前年同四半期比4.6%減）、営業利益は8億52百万円（同10.5%増）、経常利益は11億41百万円（同19.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億12百万円（同19.8%増）となり、前年同四半期比減収増益となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

(繊維事業)

衣料ファブリック部門に関しては、市場の要求に応えられる高付加価値商品や環境配慮型商品を国内外の市場に積極的に訴求し、拡大を進めてまいりました。当第1四半期連結累計期間では、北米ファッションが好調であったものの、中東民族衣装や国内ファッション及びスポーツ向けが減少し、当部門全体として減収となりました。

資材ファブリック部門については、生活関連資材及び車輻分野が減少したことにより、当部門全体として減収となりました。

製品部門におきましては、部門全体として堅調に推移いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の当事業の売上高は94億81百万円となりました。

(その他の事業)

物流分野の当第1四半期連結累計期間の売上高は1億21百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、510億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億33百万円減少しました。これは主に投資有価証券が4億83百万円、仕掛品が1億43百万円、受取手形が1億29百万円、原材料及び貯蔵品が1億25百万円増加したものの、現金及び預金が10億21百万円、売掛金が9億42百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、109億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億9百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金が6億53百万円、未払法人税等が3億98百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、400億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億76百万円増加しました。これは主に自己株式が3億77百万円増加したものの、利益剰余金が3億14百万円、その他有価証券評価差額金が2億37百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月13日に公表いたしました2027年3月期(2026年4月1日～2027年3月31日)の連結業績予想につきまして、最新の業績動向等を踏まえ、未公表としておりました2027年3月期中間期(2026年4月1日～2026年9月30日)の連結業績予想を公表しております。なお、通期の連結業績予想につきましては、当初予想から変更はありません。詳細につきましては、本日公表いたしました「中間期連結業績予想の公表に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,233	8,212
受取手形	1,354	1,484
売掛金	6,676	5,734
有価証券	1,292	1,297
商品及び製品	1,700	1,752
仕掛品	960	1,103
原材料及び貯蔵品	2,128	2,254
その他	305	150
貸倒引当金	△10	△8
流動資産合計	23,643	21,981
固定資産		
有形固定資産	9,565	9,553
無形固定資産	2,399	2,716
投資その他の資産		
投資有価証券	15,403	15,886
繰延税金資産	677	631
その他	410	345
貸倒引当金	△156	△105
投資その他の資産合計	16,334	16,757
固定資産合計	28,299	29,028
資産合計	51,942	51,009

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,792	4,138
未払法人税等	769	371
契約負債	65	92
賞与引当金	817	432
その他	2,049	2,360
流動負債合計	8,494	7,394
固定負債		
退職給付に係る負債	3,177	3,206
その他	380	341
固定負債合計	3,558	3,547
負債合計	12,052	10,942
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,680	4,680
資本剰余金	4,610	4,610
利益剰余金	28,319	28,634
自己株式	△949	△1,327
株主資本合計	36,660	36,597
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,739	2,977
為替換算調整勘定	104	115
退職給付に係る調整累計額	242	230
その他の包括利益累計額合計	3,086	3,322
非支配株主持分	142	146
純資産合計	39,889	40,066
負債純資産合計	51,942	51,009

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	10,061	9,603
売上原価	7,779	7,200
売上総利益	2,282	2,402
販売費及び一般管理費	1,510	1,549
営業利益	772	852
営業外収益		
受取配当金	81	97
持分法による投資利益	77	145
為替差益	—	1
その他	42	47
営業外収益合計	201	292
営業外費用		
支払利息	2	1
為替差損	8	—
為替予約評価損	3	0
その他	2	1
営業外費用合計	17	3
経常利益	956	1,141
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産売却損	—	1
固定資産除却損	14	14
災害損失	0	8
特別損失合計	15	24
税金等調整前四半期純利益	940	1,117
法人税、住民税及び事業税	324	358
法人税等調整額	△64	△56
法人税等合計	259	301
四半期純利益	681	816
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	677	812

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	681	816
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△84	237
為替換算調整勘定	△14	10
退職給付に係る調整額	△1	△12
その他の包括利益合計	△100	235
四半期包括利益	580	1,052
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	577	1,048
非支配株主に係る四半期包括利益	3	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	333百万円	412百万円
のれんの償却費	15	15

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維事業	その他の事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,946	115	10,061	—	10,061
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8	496	504	△504	—
計	9,954	612	10,566	△504	10,061
セグメント利益	742	26	769	2	772

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間の取引調整であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維事業	その他の事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,481	121	9,603	—	9,603
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	517	524	△524	—
計	9,488	639	10,127	△524	9,603
セグメント利益	830	19	849	2	852

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間の取引調整であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。